

## 景観計画リレーフォーラム（第2回中部編）開催状況

日時：平成27年8月29日（土） 13:00～16:00  
場所：緑台公民館  
参加者：27名

### 1. 情報提供

「川西市景観計画について」  
川西市都市計画課

- ・川西市景観計画の2つの特長について説明。  
「生活シーン」から見た景観  
生活者の視点つまり「生活シーン」の視点から、景観形成に関わる様々な主体が一体的に、良好な景観の保全や形成に取り組んでいくことで“居心地の良さ”と“愛着や誇り”を実感  
参画と協働による景観形成  
市・市民・事業者の役割を明確にし、それぞれがお互いの役割を認識し、連携しながら、協働して景観形成を推進



情報提供の様子

### 2. 講演

「花と緑を活かした景観づくり」

講師：兵庫県立大学大学院 教授 平田 富士男 氏（川西市都市景観形成審議会 委員）

- ・景観づくりは、「個々の場所のデザイン技術・テクニク」ではなく、「地域全体」を見て、そこをどのようにしていきたいのか、という気持ちが現れたものである。私たちの気持ちが「顔色」に現れるように、地域の気持ちは「景色」に現れる。
- ・「景観づくり」を進めることで、まちの資産価値が向上したことがわかる研究結果がある。
- ・まちの資産価値は、「便利さ」だけで決まるわけではなく、そこに「住みたい」と思う気持ちの強さが影響する。その「気持ちの強さ」は、「見た目」と「見た目の背景にある心、気持ち」が影響する。
- ・花や緑の景観は、市民の心・気持ちを表しやすい。



講演の様子

### 3. 景観づくり実践ワークショップ

「景観づくりへの想いを込めたプランターに市の花リンドウを咲かせよう！」

講師：兵庫県立大学大学院 教授 平田 富士男 氏（川西市都市景観形成審議会 委員）

- ・講演内容を踏まえて、花を通じた「景観づくり」を実践。
- ・リンドウの花苗を、講師指導の下、参加者全員で寄せ植えした。
- ・リンドウに掲示するメッセージを、参加者全員の案を基に話し合い、「りんどう咲くふるさと川西」に決定した。
- ・メッセージを印刷した用紙に、さらに参加者各自が手書きでメッセージを添え、ラミネートして配付した。
- ・玄関先など外に向けてアピールすることが、景観づくりへの第一歩となる。（平田講師）



ワークショップの様子

#### 来場者アンケートの状況（回答24件）

- ・りんどうの花がつなぐ輪が楽しみ。
- ・15年続けているボランティアにも良い参考になる。りんどうを元気に育てていきたいと思う。
- ・「景観は私たちの心の現れ」今後心したい。